

公益社団法人広島県就労振興センター

2022 年度事業報告

2022 年度は、2020 年以降、障害者就労支援事業所における自主製品の生産・販売と内職、下請けや施設外就労等の受注低下をもたらした新型コロナウイルスの感染対策の規制が緩和され、コロナ禍で減少した売上の回復が見られた。一方、ロシアのウクライナへの軍事進攻を契機とした電気、ガス、ガソリン、原材料価格の高騰や、経済活動再開による人手不足と人件費の高騰により、事業所での生産、運営コストが上昇するなど、事業所を取り巻く状況は引き続き厳しい状況であった。

ふれ愛プラザにおいては、規制の緩和に対応して、季節感あふれる店舗ディスプレイ、SNS 等による積極的な情報発信により、コロナ禍等で減少した来店客数の回復とオンラインショップへの来客誘導に努めた。特に、「冬のスペシャル 10weeks (11 月 1 日～1 月 10 日)」を開催し、集中的な来客誘導の取組を実施した。加えて、規制の緩和により再開した地域イベントでの販売にも積極期に参加した。

共同受注窓口においては、共同受注窓口の存在を多くの人を知り、活用いただけるよう取組を進めた。継続した営業活動の取組により国、県等の官公庁のほか、民間企業や団体などから新規受注を得たほか、新たに「そごう広島店」での商品委託販売イベントを複数回実施した。

こうした取組により、ふれ愛プラザと共同受注窓口のいずれも、販売、受注額は、コロナ禍前や前年度を上回る過去最高額となることができた。

また、広島三越で、第 2 回目となる「おひさまマルシェ」(4 月 26 日～5 月 2 日) を県内 30 事業所等の参加により開催した。事業所製品の品質向上と、県民に事業所製品の魅力を知って頂く機会となった。更に、障害者週間 (12 月 3 日～12 月 9 日) には、第 23 回目となる「セルフフェア」を県内 34 事業所の参加により、紙屋町シャレオで開催した。STU48 兵頭葵さんの応援や、参加事業所の集客の取組により、季節商品や雑貨・工芸品を中心に販売が進んだ。

県委託事業として、「つながる、つなげる事業所応援市町キャンペーン (6 月 28 日～7 月 26 日)」、「@っとひろしま！つながるキャンペーン (1 月 20 日～2 月 13 日)」をいずれもオンライン上の特設サイトにより実施した。事業所と市町とがセット商品を開発することにより事業所と市町との連携を深めることへの支援、SNS 上の広告や Instagram を活用し、障害福祉に関心はあるが、関わったことがない人へキャンペーンの周知などに取り組んだ。また学生モニター会やアンケートからお客様の感想や意見を事業所へフィードバックを行い、事業所製品のより一層の品質向上へつなげていただく機会とし、事業所と県民とのつながりを創る取組を進めた。

研修については、引き続きオンラインを中心に実施した。ビジネスマナー研修や新たに導入が予定されるインボイス制度への対応等、事業所のニーズに基づく研修の実施に努めた。また、昨年実施した営業研修で学んだことを実地に生かす取組として企業と事業所とを結ぶ商談会を実施した。

県・安芸地域障害者就業・生活支援センターにおいては、規制の緩和以降、企業においても訪問や職場実習の受け入れも進んだことから、就職とその後の定着率向上に努めた。また、在職者交流会やピアサポート活動をコロナ禍でのオンラインから集合型に変更して実施した。地域の事

業所、支援、教育機関対象の交流会等の実施を重ね、就労支援ネットワークの構築に努めた。

すまいるスタジオにおいては、利用者個々の特性に合わせた作業を提供することで、利用者がやりがいを持って作業に従事できるよう環境を整えた。規制緩和に伴う観光客の増加などにより、想定を上回る商品の受注量があったものの、「千羽鶴ファクトリーチーム」での共同製作で対応を行うことができた。

1 障害のある人の就労等に係る情報提供及び啓発に関する事業

(1) 広報事業

①広報誌の発行（年2回：7月・1月） 各回約5,700部 発行

関係行政、社協、民生委員、関連企業、正会員、賛助会員、諸団体等へ 配布

(2) 情報提供

①ホームページ、facebookの運営

セルプフェア2023や「つながる、つなげる事業所応援市町キャンペーン（6月28日～7月26日）」、「@っとひろしま！つながるキャンペーン（1月20日～2月13日）」等、イベント開催前にHPやFacebookで事業所や商品の紹介を行った。コロナ禍でイベント等開催が難しく、事業所情報を伝える機会が減少する中、SNSを活用し、より多くの方に情報を届け続ける必要性を感じた。

②ふれ愛プラザ商品紹介（HP、オンラインショップ、Instagram、facebook、LINEの活用）

③企業への情報提供

賛助会員企業へ「働く広場—障害者と雇用」（独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構発行）を毎月配布した。

2 障害のある人の就労等に係る研修に関する事業

(1) 研修会

①接遇マナー研修

日時 7月14日（木）13：00～16：00

会場 オンライン

参加者 21名

講師 Morita キャリアプランニング 代表 森田 ひとみ 氏

②障害者ピアサポート研修

日時 11月1日（火）13：00～16：00

会場 オンライン

参加者 37名

講師 特定非営利法人あすなろ 相談支援専門員 彼谷 哲志 氏
社会福祉法人 横浜市社会事業協会 精神保健福祉士 平良 幸司 氏

実践報告

【報告者】障害者生活支援センタードリームキャッチャー ピアサポーター 末清 弘聖 氏
【コーディネーター】有限会社わくわく ちゃんくす 管理者 西上 忠臣 氏

3 障害のある人が福祉施設等で制作した商品の開発、販路の拡大並びに作業の開発、開拓、斡旋に関する事業

(1) 受発注マッチング・ふれ愛プラザ運営強化事業（広島県委託事業：ふれ愛プラザ・共同受注窓口事業）

① ふれ愛プラザ事業

総売上 32,186,398 円（対前年比 115.9%）、来店者 11,180 人（対前年度比 82.7%）。

② 体験教室、イベントの開催について

I 「夏休み工作教室」に代わり、広島県委託事業「つながる、つなげる 事業所応援市町キャンペーン」において工作キットを販売。

II 広島県委託事業によるオンライン販売の実施

○ 「つながる、つなげる 事業所応援市町キャンペーン」

期間：6月28日～7月26日

○ 「@っとひろしまつながるキャンペーン」

期間：1月20日～2月13日

内容：オンライン上に特設モールを開設し、各市町で活動する事業所の製品のセットを紹介、販売する。併せて、各市町の障害者就労支援の取組を紹介する。

III 「おひさまマルシェ」開催

期間：4月26日（火）～5月2日（月）

場所：広島三越 1階 イベントスペース

参加事業所数：30事業所（内会員20事業所）

売上総額：3,451,702円（税抜き）

③ 県民・市民に身近な“ふれ愛プラザ”を目指した店舗づくり

I 施設活動、製品についての広報・啓発（店舗、事業所紹介）

事業所で製造しているお菓子の詰め合わせ「おやつBOX」の販売を強化。ふれ愛プラザ活動、製品紹介のチラシ等を作成し、行政、福祉機関・団体の協力のもと、幅広い販売促進とPRに努めた。

II 販売実習は新型コロナウイルス感染拡大のため、中止。

III オンラインショップの運用

事業所製品と併せて、事業所で働く障害のある人たちの様子や生産工程も紹介した。

冬のスペシャル10weeksを実施、SNS等による広報を強化した。

期間：11月1日（火）～1月10日（火）

オンラインショップ売上：470,780円（対前年度比166.8%）

IV外部出展・販売

行事名	会場	実施日	活動内容	売上
花♪音 in シャレオ	シャレオ中央広場	5月4日	ブース販売	16,654
カープ 広島県・広島市 合同応援	マツダスタジアム	6月28日	ブース販売	142,382
えっとつながろう ふれあいマルシェ	そごう本館	5月24日 ～6月5日	委託販売	293,500
2022年度広島県社会福祉 大会	アステールプラザ	10月25日	ブース販売	42,478
ひろしまフードフェスティ バル	広島城 西堀	10月29日 ～30日	ブース販売	629,921
介護の学校	トリニティカレッジ	11月20日	ブース販売	22,176
そごう販売会	そごう本館	5回	テーマにあわせて出展	279,459
広島ガス販売会 (昼休憩時間の販売)	広島ガス本社	6月30日 12月12日	初めての取組。県庁を通じての開催。古着等の回収も行う。	298,893
つながる、つなげる事業 所応援 市町キャンペーン、 @っとひろしまつながる キャンペーン	オンライン販売	6月28日～ 7月26日 1月20日～ 2月13日	県主催キャンペーン (出展商品展示会開催、学生モニター会開催協力)	146,592

(2) 商品力向上への支援

夏、秋、冬の季節毎の商品や贈り物に最適な商品を詰め合わせた「ギフトBOX」を店頭にてコーナーを設置、オンライン、注文販売にも加えて販売を強化した。

(3) 常設店（委託販売）・フェア・イベント事業支援

① 常設（委託販売）

ひろしま夢ぷらざ、広島プリンスホテル、ローソン紙屋町二丁目店、ポプラ広島市役所店他4店舗、セブンイレブンシャレオ店他1店舗、イオン広島府中店、ひろしまブランドショップTAU、広島県立美術館

②創作品、商品の展示紹介活動の推進

フェア名	開催日	開催地	参加事業所数
冬のおひさまマルシェ セルプフェア 2022	12月1日(木)～ 12月14日(火)	紙屋町ベース (紙屋町シャレオ内)	32事業所 (内会員19事業所)

③斡旋紹介活動の推進

I 受発注マッチング・ふれ愛プラザ運営強化事業（共同受注窓口事業）

年 度	売上高（件数）	比率%（件数%）
2022年度（4年度）	12,869,256円((217件)	110(97)
2021年度（3年度）	11,696,689円(222件)	100(100)

II ルイボスティ・海水の素共同受注事業支援

III 自動販売機事業共同受注事業支援

IV 商談会への参加

【令和4年度販路開拓支援事業「商談会」】

期 日：2022年11月14日（月）

会 場：ホテルセンチュリー21広島

主 催：広島県商工会連合会

提案商品：チョコレート（多機能型事業所あさひ）

内 容：小規模事業者等の商品開発・販路開拓を支援するため、首都圏並びに広島地区等のバイヤーを誘致した商談会
そごう広島店、広島三越、有限会社北條、株式会社郵便局物販サービス、47CLUBへ商品提案を行う。

結 果：47CLUB主催（会場：福屋）販売会にて販売。そごう広島店バレンタインイベント、マルシェットイベント（バレンタイン）にて販売。

V 情報収集・研修会への協力・参加

市町の自立支援協議会へ参加し、共同受注、情報収集、研修会への協力等を行った。

①安芸高田市自立支援協議会への参加

・安芸高田市広報誌他の封入作業（発注元：保険医療課、秘書広報課）及び安芸高田市の公用車洗車作業（発注元：社会福祉課）等の調整

(4) 研修会の開催

I インボイス研修（オンライン開催）

日時：4月23日（金）13時30分～15時30分

講師：奥会計事務所 白濱孝行氏

参加者：23名

II 工賃向上研修の実施協力

主催：広島県 実施主体：株式会社インサイト

講師：株式会社インサイト 北野喬士氏、高玉要氏

日時・場所	テーマ	プログラム
第1回 9月27日(火) 10時～17時30分 オンライン研修 (Zoom) 参加者：15名	①マーケティング (選択) ②アセスメント (必須) ③請負営業 (選択)	①マーケティング戦略、戦術など ②工程改善と作業アセスメント、作業アセスメントの作成、活用方法など ③請負営業の流れとロールプレイング
第2回 3月7日(火) 13時30分～16時 オンライン研修 (Zoom) 参加者 25名	【成果報告会】 全国の事例、県内事業所の実践報告	事例紹介、今年度アドバイザー派遣事業所の実践報告など 実践報告事業所： 福祉サービス事業所りんりん、つくしんぼ作業所、障がい福祉サービス事業所「ファイト」

【工賃向上アドバイザー派遣・個別面談会】

主 催：広島県 共催：呉市 実施主体：(株) インサイト
 (個別面談会)

日 程：10月20日(木) 各事業所 1.5時間程度

事業所：オレンジハウス、ありんこBジョブ、キュアシス
 (アドバイザー派遣)

日 程：10月17日(月)、11月17日(木)、12月12日(月)、1月10日(火)

事業所：ひかり作業所、福祉サービス事業所りんりん、元気サポートひまわり、
 ふれあいの家たんぼぼ、NPO 法人くれんど (ジョバンニ、カンパネラ)、
 多機能型事業所 LOVE ART、つくしんぼ作業所

アドバイザー：株式会社インサイト 北野喬士氏、高玉要氏

内 容：各事業所の課題、達成目標を整理し、行動計画を作成、実施に向けて助言を行う。

【事業所活動紹介・商談会】

日 時：2月22日(火) 14時～16時

場 所：CLiP HIROSHIMA 1階イベントスペース

共 催：広島県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会、日中活動支援部会
 広島市就労支援センター

講 師：高玉要氏 (株式会社インサイト)

参加事業所：10 事業所

内 容：企業に対し、事業所活動の紹介と商談を行う。ホテル清掃等の相談につながった。

4 障害のある人に対する就業・生活支援に係る事業

(1) 呉安芸地域障害者就業・生活支援センター事業

就業支援登録：50名（累計1,195名）の就労希望者の登録

就業における実績：職場実習43件、就労実績42件、就職1年後92.7%

障害別・登録者 件数 (2023年3月31日現在)

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害 (発達障害・難病・ 高次脳機能障害)	合計 (件)
128	665	397	5	1,195

2022年度 新規登録者内訳

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計 (件)
5	14	31	0	50

2022年度 就業実績 件数 ※ () 内は前年度件数

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計 (件)
6 (2)	15 (21)	21 (18)	0 (0)	42 (41)

2022年度 職場実習あっせん 件数 ※ () 内は前年度件数

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計 (件)
6 (1)	14 (14)	23 (15)	0 (0)	43 (30)

就業定着率 (2018年度就業者68名のうち就業1年後の定着率) ※ () 内は前年度

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計 (%)
100 (71.4)	100 (90.0)	83.3 (73.7)	-	92.7 (80.4)

(2) ピアサポート活動

感染予防対策を徹底し、集合型で4回実施した。

実施日	内容
第1回 2022年5月14日(土) ビューポートくれ	テーマ：「職場で困った時はどうしていますか？」 参加者：13名 (就業している障害者9名、就労を目指す登録者4名)
第2回 2022年9月3日(土) ビューポートくれ	テーマ：「就労と一人暮らしについて」 参加者：5名 (就業している障害者2名、就労を目指す登録者3名)
第3回 2022年11月12日(土) ビューポートくれ	テーマ：「相談できる人や場所がありますか？」 参加者：11名 (就業している障害者9名、就労を目指す登録者4名)
第4回 2022年11月12日(土) ビューポートくれ	テーマ：「職場での苦手な人とのコミュニケーションについて」 参加者：7名 (就業している障害者6名、就労を目指す登録者1名)

(3) 社会生活スキル学習会（在職者交流活動）

在職中の登録者や家族を対象にグループワークや勉強会を開催し、障害者同士が交流し職場での悩み等を話し合う機会となっている。また、職場への定着状況を把握するとともに、必要に応じて職業生活上の課題を解決するための援助を行った。

実施日	内容
第1回 2022年6月25日（土） ビューポートくれ	【登録者向け】（知的障害者対象）「大切な契約とお金のはなし」 講師：呉安芸地域障害者就業・生活支援センタースタッフ 参加者 21名 【登録者、家族、支援者向け講座】「障害年金の基礎講座」 講師：道沖 利恵氏（社会保険労務士） 参加者 24名
第2回 2022年8月20日（土） ビューポートくれ	【登録者向け】（精神障害者対象）「お金の達人になろう。」 講師：君崎 滋氏（ファイナンシャルプランナー） 参加者 9名 【当事者・家族支援者向け】「障害のある方のライフプランや資産管理について今から準備できることを学ぶ」 参加者 23名 講師：君崎 滋氏（ファイナンシャルプランナー）
第3回 2022年10月29日（土） ビューポートくれ	【登録者向け】（知的障害者対象）「商品の選び方について」 講師：呉安芸地域障害者就業・生活支援センタースタッフ 参加者 31名
第4回 2022年12月24日（土） ビューポートくれ	【登録者向け】（知的障害者対象）「買い物の基本と商品の選び方（まとめ）」 講師：呉安芸地域障害者就業・生活支援センタースタッフ 参加者 18名

(4) 地域の就労支援力の底上げのためのネットワーク形成・セミナー等の実施

地域の支援機関や関係機関の連携を図るハブ機関として、地域における支援ネットワークの構築や、障害者雇用企業や就労支援事業所等の担当者との情報交換、意見交換を目的として、4回実施した。

実施日	内容
2022年5月16日（月） 呉南特別支援学校 （保護者説明会）	就職後の支援が円滑に行えるように、特別支援学校の生徒、教職員、保護者を対象にした説明会、障害者就業・生活支援センター見学会（特別支援学校との共催）
2022年月6月20日（月） 呉安芸地域障害者就業・生活支援センター （生徒、教職員見学会）	保護者説明会 参加者 29名 生徒、教職員見学会 参加者 18名

2022年11月22日(火) 呉医療センター技術研修センター	「専門的分野の有識者を講師とした地域支援機関、企業担当者を対象とした研修・交流会」(応急処置を学ぶ)AEDや人体模型を使い体験型で実施。 講師:瀬川 久江 氏(救急看護認定看護師・救急救命士) 参加者:20名17事業所(企業、福祉サービス事業所)
2023年1月25日(金) ビューポートくれ	呉安芸地域障害者雇用関係機関連絡協議会 研修会:「障害者雇用の取り組みと就労定着について」 (マツダ株式会社人事厚生・施設グループ 片岡真実氏) 参加者:41名35事業所(企業、福祉サービス事業所)
2023年2月22日(水) ビューポートくれ	「就労支援事業所との意見交換会」 就労支援のプロセスや就労するために必要な準備について、情報・意見交換を行った。 参加者:14名9事業所(福祉サービス事業所)

(5) 関係機関との連携

呉市、江田島市の自立支援協議会就労支援部会に参加し、障害者雇用をすすめていく上での課題について発言や行事等の案内をした。

- ・呉市自立支援協議会 7回出席(全7回開催 内オンライン2回)
- ・江田島市自立支援協議会会議 3回出席(全3回開催)

(6) 就労支援スキルアップを目的とした研修会参加状況

研修・会議名	場所	期間
令和4年度障害者就業・生活支援センター主任就業支援担当者研修	千葉市障害者職業総合センター	2022.5.17 ~5.20
令和4年度障害者就業・生活支援センター就業支援担当者研修	千葉市障害者職業総合センター	2022.7.12 ~7.15
2022年度障害者就業・生活支援センター事業(雇用安定等事業)に係るブロック別経験交流会議	オンライン参加 (徳島労働局)	2022.11.15
2022年度中国・四国地区ワーカー連絡会	オンライン参加 (徳島県)	2022.11.16
広島障害者職業センター 平成4年度就業支援基礎研修	BIG FRONT ひろしま	2022.8.24 2022.8.30 2022.9.6
障害者職業総合センター 第30回職業リハビリテーション研究・実践発表会	東京ビッグサイト	2022.11.15 ~11.16
日本財団 就労支援フォーラム NIPPON2022	東京ビッグサイト	2022.12.17 ~12.18

特定非営利活動法人全国就業支援ネットワーク 第9回障害者就業・生活支援事業をより深く考 えるための全国フォーラム	千葉県国際交流セ ンター	2023. 2. 10 ～2. 11
広島障害者職業センター 就労支援スキルアッ プセミナー	オンライン参加	2023. 2. 16 2023. 2. 21
Conference of Employment First 実行委員会 CEF2023～質の高い障害者雇用を考える会議～	大妻女子大学	2023. 3. 10 ～3. 11

5 障害のある人の権利擁護に関する事業

研修会、イベント開催を通じて障害のある人の人権擁護に関する普及啓発を行った。

6 関係行政機関、団体等との連携に関する事業

(1) 全国社会就労センター協議会にアンケート・要望事項の提出

①共同受注窓口体制に関するアンケートへの協力

②全国社会就労センター協議会関連会議、研修会への参加

I 第1回協議員総会 5月19日(木) オンライン開催

・議題 令和3年度事業報告・決算について 等

II 第2回協議員総会 3月7日(火) オンライン開催

・議題 令和4年度補正予算、令和5年度事業計画・予算、規程見直しについて 等

(2) 中国・四国社会就労センター協議会

I 役員会 5月19日(木) オンラインによる開催

II 中国・四国社会就労センター臨時役員会 11月10日(木) 岡山県岡山市

(3) 障害者の就労に関する各団体及び理解と支援を示す各団体との連携

厚生労働省広島労働局、広島県障害者支援課、広島市障害自立支援課、広島県雇用人材確保課、広島障害者職業センター、広島障害者職業能力開発校、各障害者就業・生活支援センター、ハローワーク呉、ハローワーク広島、ハローワーク広島東、ハローワーク可部、ハローワーク廿日市、呉特別支援学校、広島北特別支援学校、広島特別支援学校、廿日市特別支援学校、黒瀬特別支援学校、広島市立広島特別支援学校、広島県共同募金会、広島県社会福祉協議会、ひろしまNPOセンター、千羽鶴未来プロジェクト等

7 障害福祉サービス事業所の運営

(1) 就労継続支援B型事業 利用契約者数：24名(3月末現在)

①利用者支援について

利用者個々の特性、目標・課題に応じた作業設定と支援を提供することで、利用者がやりがいを持って作業に従事できるよう環境を整えた。その結果、「働きたい」「頑張りたい」と

意欲的になった利用者についてはできる作業が増え、通所日数・就労時間が増加した。一方で、職員のサポート不足や生活面・体調面に課題がある等が原因で、通所日数・就労時間が減少するケースもみられた。利用者の通所目的が、「働く場」と「日中活動の場」で二極化していることも課題である。下半期には、通所日数・就労時間が減少している利用者に対して、本人・家族、関係機関との面談の場を設け、現状の課題やこれからの目標・道筋について一緒に考え整理した。

②商品の受注・製作について

新型コロナウイルス感染防止による行動規制緩和から、委託販売先等から商品の受注が倍増している。加えて、広島市等からのノベルティグッズ受注・製作や、優先調達制度を活用した付箋の納入が重なり、想定を超える商品の受注量、製作量であった。千羽鶴ファクトリーチームと共同製作を進め、対応したものの、利用者支援と商品製作のバランスが崩れてしまい、利用者に対する細やかなサポートや定期的な面談等を実施することができなかった。定番商品は事前に在庫を製作しておく、ファクトリーチームへの作業発注量を増やすなどの対応が必要であった。今後は更なる受注量の増加が見込まれるため、「千羽鶴ファクトリーチームとの共同製作の推進」、「工程表、納品実績を用いた計画的な商品づくり」、「利用者を職人に育てる支援」を実践しながら、千羽鶴ファクトリーチームと協同して商品の受注に対応していく。

③千羽鶴未来プロジェクトと協同して、障がいのある方の仕事づくりを行う。

- ・千羽鶴ファクトリーチーム参加事業所数：47 事業所（2022年9月末時点）
- ・千羽鶴ファクトリーチームのキーステーションとして、グッズの共同製作やオリジナルグッズの製作、新商品の案内などの情報発信に努めた。
- ・折り鶴ポストカード事業（広島市の優先調達推進法を活用）
「付箋」発注に対する組み立て等の作業を事業所で共同受注した。

〔広島平和記念資料館 納品状況（個）〕 参加事業所：27事業所

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
製作事業所数	17	23	25	23	22	23	24	25
納品数（個）	24,000	43,000	44,000	37,000	38,000	38,000	38,000	38,000

(2) その他

①職員会議（月1回）

個々の利用者の支援内容や個別支援計画の内容について協議、行事や事業所運営に関する検討等

②関係機関との連携・研修会への参加（オンライン）

・「令和4年度広島県障害者虐待防止・権利擁護研修」、「令和4年度指定障害福祉サービス事業所等集団指導研修（年2回）」、「「発達障害の診断後、それからどうなる？」発達障害医療ネットワーク構築のための支援者研修」等、職員のスキルアップを図るための研修に積極的に参加した。

8 その他公益目的達成に必要な事業

(1) 総会、理事会の開催

新型コロナウイルス感染拡大のため、書面決議にて開催した。

①総会

・第1回

【日時】 6月17日(金) 定款第18条の「書面決議等」による書面決議

【議案】2021年度事業報告(案)、決算報告(案)、会員入退会、役員改選、定款変更等

②理事会

・第1回

【日時・場所】 6月3日(金) 定款第34条の「決議の省略」による書面決議

【議案】2021年度補正予算(案)、事業報告(案)、決算報告(案)、会員の入退会、定款変更、規程変更、役員改選等

・第2回

【日時・場所】6月24日(金) 定款第34条の「決議の省略」による書面決議

【議案】代表理事の選任、規程変更等

・第3回

【日時・場所】1月31日(火) 10時~12時 広島県社会福祉会館 会議室1

【議案】上半期事業報告、その他報告等

・第4回

【日時・場所】3月22日(水) 14時~16時 広島県社会福祉会館 会議室1

【議案】2022年度補正予算、2023年度事業計画(案)、予算(案)等

(2) 正会員及び賛助会員の拡大を推進し、組織の強化を図る。

①正会員

入会事業所：SOARきつつき、多機能型事業所あさひ、第三もみじ作業所

(3) 財務基盤の確立

・塩、ルイボスティ、スティックシュガー、缶飲料等の販売促進の取り組みを行った。